

## 全体会午後の部Ⅱ

**司会者** それではただ今より、全体会午後の部Ⅱを行いたいと思います。午後の部Ⅱの司会を担当させていただきます上板中学校3年のa1, 上板中学校3年のamです。よろしくお願いします。後半は4本の意見発表があります。まずは後半1本目の意見発表です。よろしくお願いします。



「語り合える仲間に」

### 大麻中学校

僕は今年、もっと自分の人権意識を高めようと思い、この「人権を語り合う中学生集会」に参加しています。

その語り合いの中で、僕が強く印象に残っていることがあります。それは、20年ほど前に板野中学校で行われた公開授業の様子です。公開授業の前に、ある生徒が、自分の住んでいる地域が被差別部落であることを仲間に伝えました。そのとき、まわりの友達は、「みんなで差別がなくなるように真剣に考えていこう。」と励まし合いました。そして、その授業をきっかけにクラスの絆が深まり、今まで以上に真剣に人権問題に取り組んでいきました。授業では、仲間の意見に対し次々と発表が続き、一人ひとりが安心して自分の思いを語っていました。僕は、初め、「こんな大勢の人の前で自分のことを話すなんて勇気があるなあ。みんな真剣に考えていて、すごいなあ。」とっていました。

その後、自分自身のことについて考えてみ

ました。これまで僕は、人権劇に参加したり、人権委員として活動してきましたが、「勇気があるなあ。すごいなあ。」とっていた自分は、偏見や差別に対して自分のこととして考えられていなかったことや差別をなくすのは自分なんだという強い意志がなかったことに気がつきました。また、今までの僕は、「これからは、自分のできることをしていきます。困っている人がいたら力になりたいです。」と発表してきたけれど、自分が今できる何かを真剣に考えていたわけではなかったのです。そのような考えでは、悲しく辛い思いをする人は減りません。僕は、わかっているフリをするのではなく、もっと自分から行動をしていかなければならないと感じました。

だから、今、僕にできることを考えました。僕は、人権問題について積極的に自分から知ろうとしたり、関わろうとしたりすることが大事だと思いました。そこで、まず、中学生集会の実行委員長に立候補し、今までの自分を変えていこうと決めました。当日の演説では、とても緊張しましたが、今の僕は、強い信念をもってこの集会に参加したわけではないことや、今の自分に何ができるのかまだわからないことを正直に伝えました。みんな真剣に温かい目で話をきいてくれました。そして、そんな僕だけど、実行委員長になって、一人ひとりが自分を語るができる雰囲気作りをしていきたいことや、何でも本音で言い合える友達や仲間づくりをしていきたいことを伝えました。今は、僕はその思いをたくさん仲間で支えてくれ、ともに語り合い、学び合える機会が増えていると感じます。話し合いが進むと、みんなそれぞれいろいろな悩みや心配ごとを抱えていることもわかりました。仲間の話を聴くときは、とても優しい空気が流れていて、自然と自分の思いを伝えることができます。それは、みんなが自分のこととして真剣に聞き、一緒に考えてくれていたからだと感じ、仲間っていいなあ、出会

いっていいなあと思いました。



僕は、これからも交流集会に積極的に参加し、学んだことを自分のクラスでも伝え、まわりの人の考えや思いを理解していこうと思います。そして、語り合える仲間の輪を広げていきたいです。

**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半2本目の意見発表です。国府中学校3年、上野晋作さん『「いじめること」と『いじられること』』です。よろしくをお願いします。

### 「いじめること」と「いじられること」

国府中学校 3年 上野 晋作

僕は、小学6年生の頃から、よく友達にいじられています。それは些細な質問からでした。

「晋ちゃん、もし生まれ変わることができるとしたら、男と女どっちに生まれたい？」

「ほうやなあ、今は男やけん、次は女に生まれてみたいかな。」……このやりとりが「ほな晋ちゃんは男でないわ。どっちの性別も持つとるわ。」……と、いじられるきっかけとなっていました。休み時間も、授業中も、部活動の時間も、ちょっとしたことがきっかけで、「晋ちゃんは女やけん。」とか「晋作でなくて、晋子やな。」と、いじられることに発展し、今もそれは続いています。正直なところ、もう慣れてしまい、「ああ、またか。」と思うようにもなりました。だからと言って、このままでいいのかと考えるときも

あります。傷つくときだってあります。

でも、このようにいじられているのは僕だけではありません。僕の周りにも、ずっといじられ続けている子はいます。そんな子に対して、僕もいじってしまいます。そして、僕もまた、その子からいじられます。言ったら言い返され、言われたら言い返す。……まるで戦争のようになっています。それを見ている周りの子も、止めることなく笑っています。こんな状態が続き、僕の心は麻痺してしまっています。

いじられ続けて落ち込んでいる子もいます。言い過ぎたかなあと思いながらも、「これくらいで落ち込むなよ。僕はもっと言われているぞ。」と、自分を基準に考えてしまいます。いけないことだと分かりながら、ダメなことだと分かりながら、僕がいじれることも、僕がいじられることも、ずっと続きました。

そんなある日、テレビを観ていると、ある芸人が話をしていました。中学生の頃、笑いをとるために友だちをいじっていたという話でした。友だちは嫌がっているのに、いじり続けて泣かせてしまったり、それによって周りから嫌われてしまったりしたこと。そして、誰かをいじめることで、良いことは何一つないと言っていました。そのいじりが、行き過ぎるといじめに発展してしまうとも話していました。僕は、その番組を観てぞっとしました。なぜなら、僕は自分がいじられることに対してそこまで深く考えてはいなかったからです。もしかしたら、僕はいじっている子に対して、とてもつらいことをしてしまっていたのかもしれない……そう思いました。そして、よく考えると、僕自身は小学生の頃から、自分がいじられてきて、少しも良い気分ではなかったなあ、改めて振り返って気がつきました。「自分がされて嫌なことは相手にもしてはいけない」という当たり前のことが、今回ほど身にしみたことはありません。だから僕は宣言します。「相手が嫌がること

は絶対に言わない。」と。そして、僕も、今まではっきりと否定することができずに、うやむやになっていましたが、ここで言います。

「僕は性別のことで、これ以上いじられたくない。」

何気なく発する言葉や、いじりで、これ以上傷つく人が増えて欲しくありません。僕も、自分の発言を考えます。ですから、皆さんも、ぜひ普段の自分の言葉やいじりについて、今一度考えてみてください。



**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半3本目の意見発表です。国府中学校3年、瀬戸楓さん「一生懸命向き合って」です。よろしくお願いします。

### 「一生懸命向き合って」

**国府中学校 3年 瀬戸 楓**

「言ったら、周りはどう思うんだろう…。」

1年生の時に、私のクラスではいじめがありました。そして、いじめられていたのは、私の仲がいい友達でした。でも、私は、いじめをしている人に注意をすることができませんでした。友達に「気にせんでいいよ。」と声をかけてはいましたが、直接注意することはできませんでした。言ったら自分もされるかも知れない。周りは私をどう思うんだろう。そんな気持ちがあり、いじめという問題から逃げてきました。友達の間方になっているつもりで、その子を傷つけてしまっていました。

3年生になって、すぐの人権学習で、震災後、福島から避難してきた人たちが受けた差

別のビデオを見ました。そのとき、私はすごく複雑な気持ちになりました。差別しているのを見ると腹が立つし、いけないことだと思うし、なんでそんなことをするのだろうと思いました。でも、それと同時に、いじめを止められなかった私が、偉そうにそんなことが言えるのだろうかとも思いました。その後、感想文を書くときも、その気持ちは消えませんでした。そして、クラスで、そのビデオについての一回目の話し合いがやってきました。ビデオを見て、どう思うかという内容でした。「言ったら、周りはどう思うんだろう。」嫌われるかも知れない、周りの目が怖い。恐怖心から、私は自分の意見を言うことができませんでした。そんな気持ちがクラスに広まり、しゃべりにくい話し合いになってしまい、一回目は何も言うことができずに終わってしまいました。二回目も、私は何も言いませんでした。これじゃだめだ。そう思い、変わらなくちゃいけないという気持ちが強くあったのに、二回目も何も言えませんでした。三回目の話し合いは、「自分のことを話す」という話し合いでした。そのときに、先生が、恐いかもしれないけど、話さなければ、本当に何もかも打ち明けられる、いいクラスにはできない。自分を守るばかりでは、本当の話し合いにはできないと教えてくれました。そのとき、話さなきゃいけない。私は、まだ何もしようとしていないんだと気付きました。話し合いが始まると、いろいろな人が、自分のことについて話しました。自分は、実はネガティブで周りの人を信じられてないこととか、自分の言動で他の人を傷つけてないか心配だとか、私の知らない一面を打ち明けてくれた人たちがいました。その人たちを見て、発言しなければと思いました。でも、なかなか手を挙げられなくて、声が出なくて、「悔しい。情けない。自分で自分が嫌だな。」と思いました。そして、沈黙が訪れました。正直、違うときにしようかなと思いました。で

も、このまま逃げれば、また他人任せになってしまうと思いました。そう思ったら、自然と手が挙がりました。言ったことはあまりはっきりと覚えていません。でも、震える情けない声だったことは覚えています。その後、すごく恐くて不安でした。皆は、私のことをどう思ったんだろうとか、嫌われてないかとか、いろいろ考えました。話し合いの後も、ずっと不安でした。そしたら、ある友達が「尊敬する」と言ってくれました。また違う友達も「自分もなんよ。」と話してくれました。ものすごくうれしかったです。もしかしたら、迷惑だったかも……と思っていた私の発言に対して、意見を返してくれる人が何人もいて、涙がこみ上げてきました。



そして、私は学年でも意見を発表することになりました。学年全員で話し合ったあの日、いろいろな人がいろいろなことを話していて、全部が全部心に残っています。私は、意見を言っていたすべての人を本当に尊敬しています。でも、何より印象に残っているのは、友達のAちゃんです。意見交換がもう終わりというとき、Aちゃんが手を挙げました。そして「私は、自分が嫌な思いをさせられたり、いじめを受ける対象になったことが何度かあって……そのときに友達が助けてくれたこともあって……。」と話し始めました。Aちゃんは、重い表情で、一言一言絞り出すように話していました。そして、最後にこう言いました。「私は、教室での人権学習が正直言って嫌いで……『差別をしてはいけない』とか『いじめはだめ』とか、普段、自分をいじめ

たり差別したりする人が、そう言って、なんか……。でも、今日みたいな話し合いだったら、いいなと思って……。」そう言って、あとの言葉が続かなくなりました。声も震えていました。私は、Aちゃんと仲が良かったのに、そんな辛い思いをしたことを知れてなくて、支えられなくて、それを聞いて悔しかったです。その痛みを知って、支えられる人になりたい、そういう自分になれるよう頑張りたいと思いました。

発言するってすごく恐いし、難しいし、勇気のいることだと思うし、私は今も苦手です。でも、私のクラスや学年で皆が話してくれた、その言葉が、私にも発言する勇気をくれました。言葉は、人と人との関係を深めていったり、つなげていったりする、大切なものです。そして、言わなければ、行動しなければ、伝わらないことだって、たくさんあるから、差別についても、自分自身についても、私は、一生懸命向き合って、自分の思っていることを口に出せるように少しずつ努力しようと思います。

**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半4本目の意見発表です。藍住中学校3年、佐竹美珠さん「大切な友達」です。よろしくお願いします。

### 「大切な友達」

**藍住中学校 3年 佐竹 美珠**

私には、小学生の頃からの友達があります。私はその子と一緒に話をしたり、遊んだりすることが大好きで、一緒にいると、とても楽しくて幸せな気持ちになります。私にとって、本当に大切な友達です。

でも、その子のことをよく知らない子に、その子のことを話すと、良い反応が返ってくることは少なく、悲しくなることがあります。きっと、その子のある一つのことが、み

んなは気に入らないのだろうなと思います。みんながその子のことをわかろうとして、きちんと話をすれば、その子が本当にいい子だということがわかるはずなのに、それをわかってもらえないのは、やっぱり悲しいし、残念です。

だけど、それは私にも問題あって、私はその子に対して良くない反応が返ってきたとき、全く言い返すことができていないのです。ひどいときは、聞いていないかのように、黙ってしまっています。「そんなふうに思うのか」と驚く気持ちもるけれど、正直、良いイメージを感じない気持ちも、少しわかるからです。私も今までに、誰かから聞いた悪いうわさや、見た目のこわさなどで判断して、勝手に悪いイメージを持って、よく知らないのに嫌いになったことがたくさんあります。「私と友だちでもないし、どう思っても関係ない」と初めから理解しようとしていなかったと思います。

だから、私の友達に対して、あまり良くないイメージを感じる子も、きっと私と同じ気持ちなんだろうなと考えると、何か言うべきなのはわかっているけど、何も言うことができなくなってしまいます。でも、それでは、せっかく友達になれるかもしれないのに、もったいないなと思うようになりました。今、私はその友達のことが大好きだけど、友達じゃなくて、逆の立場だったとしたら、私だって良い反応は返さずに、悪いイメージを感じていたと思います。そして、その子とは会話さえせずに、むしろ私の方から避けていたと思います。それを考えると、本当に悲しくなります。

だから、私は、これからは、最初に悪いイメージをもった子でも、もしかしたら、その子と気が合って良い友達になれるかもしれないのだから、勝手に悪いイメージ持たずに、自分から理解しようとしてみるべきだと思います。嫌いになるなら、その人のことをき

ちんと理解してから嫌いになったほうが、ずっといいと私は思います。



しかし、私はすぐにそのことを実行する自信はありません。自分から理解しようとするといっても、その方法は、その人と話をするくらいしか、今の私には思いつきません。でも、私は人と会話をすることが苦手です。あまり話をしたことがない人や初対面の人とだと、会話が続きません。それなのに、自分から苦手な人に話しかけていく自分の姿なんて想像ができません。だから、せめて今は、誰かの悪いうわさや見た目などで、簡単に人を嫌いになってしまわないようにして、理解しようとするための努力をしていきたいと思います。

人の言葉に惑わされず、自分の意見をしっかりともらった人になることが、今の私の目標です。全員が友達と一緒にいるときのように、お互いを思いやり、尊重し合うことができたなら、それはすごく良いことだと思います。だから、まずは私がそうなることができるように、周りの人を大切に、今の友達をこれからも大切にしていこうと思います。ご清聴ありがとうございました。

**司会者** ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、前半で発言しきれてない人や、付け加えるような内容のある人は、これが最

後のチャンスとなりますので、ぜひ発表してください。なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願ひします。

**屋島中学校 3年 ac** 僕は小さい頃いじめられた経験もいじめた経験も両方あります。いじめられたのは、小学2年生の学童に通っていたときで、年齢の上の子から嫌がらせを受けて、いじめた時は、同級生の子たちに難癖をつけていじめていました。どっちにしても、自分が嫌な思いをしたり、いじめた時に先生に怒られたり、その人から話を聴いたりして、やっぱりいじめはダメだな思ったし、今でも、さっきの一番最後に言ってくれた人のように、僕もあんまり話したことの無い人や嫌な人だとあまりしゃべりたくないと思う事もたくさんあるので、そういうところを少しずつ変えて、自分の考え方を変えている人と話して行って、それから人との付き合いを考えたいと思います。

**名和中学校 2年 m** いじることといじられることで、私のクラスにもいじられている人といじる人がいます。私もいじられる方もあるし、いじる方もあって、その人の気持ちを考えないで発言して、その人を傷つけてしまったことがあるので、私が自分が言われて嫌なことを人に言っちゃいけないということがよく分かりました。

**大麻中学校 3年 bg** 1本目の作文を聞いて、これからは自分のできることをするとか、困っている人がいたら力になるとか、僕も口先だけで言っていたので、これからはちゃんと本当に行動ができるように努力していきたいです。

**板野中学校 2年 an** 私の1年生のときのクラスは、とてもいじりみたいなのが多くて、

この国府中学校の上野さんの作文を読んで、いじりでいろんな人が傷つくというのを読んで、1年の時は、傷ついた人がいっぱいおっただんじやないかなと改めて思いました。

**屋島中学校 3年 s** 僕は4年生の頃、いじめはダメだと思っていました。自分がいじめてないつもりでいたんですけども、その時に担任の先生から呼び出しされて、友達をいじめているよと言われて、その時はものすごいショックを受けました。でも、今でも無意識のうちに言ってしまうたりすると思うのでこれからやめていきたいと思います。そして、もし言ってしまった場合は、素直にゴメンなさいと言えるような自分になりたいです。



**城ノ内中学校 2年 ao** 人間は、幸せに過ごすっていうのを目標に生きているんだと思うんですけども、いじめとかさっき言っていた部落差別とかは、他人の評価を落とすことによって自分の立場を確立するという外道なやり方だと思うんですよ。それで、落とされた人たちに救いの手、いじめの場合は1人でも勇気を出して救いの手をさしのべることで、その人は救われるし、部落差別ならば、その差別されている人数分救いの手をさしのべることによって、その他の人たちは救われると思うので、やり方はあまりピンとこないけど、とりあえず人のために助けようと思う気持ちをもつことは大事やと思います。

**土庄中学校 1年 ap** 僕は、中学校の先輩や友達の意見をあまり聴いていないので、意

見を聴けるようにしっかりしていきたいです。

**大麻中学校 3年 j** 私も小学校の時に、女子に話しかけても無視されたり、聞こえるような声で悪口を言われたりして嫌な気持ちになったんですけども、自分が嫌な気持ちになったからこそ、そんな嫌な気持ちになることは人にしてはいけないと思えたので、これからもそういうことは絶対しないようにしたいです。

**板野中学校 3年 a a** 大麻中学校の作文でAちゃんがなんか言った言葉で差別とかしている人が、差別はいけないみたいなことを言っていたことで、私も、ハンセン病についてプレゼンをやったときに、「人を見た目で判断してはいけない。」とか、「見た目で見めてはいけない。」と言った男の子が、チャイムが鳴ったと同時に相手の女の子に向かって、「おい、ブス！」みたいなことを叫んで、こいつ一発殴ったろかいなと思ったんですけども、ほんま、こいつキレイ事ばかり言いやがってと思って。うちが思ったことは、キレイ事とかは自分が周りをいっぱい傷つけるし、一緒におった人を傷つけるなど。そいつの発言を聞いた子が、「なんや」みたいな感じになるし、やっぱアカンなと思った。

佐竹さんの作文の中でも、見た目とかで、見た目でないわ、うわさ？とかを聞いたとかで、うちもクラスメイトにすごい男子と仲がいい、キャピキャピみたいな感じの女子がやって、同じクラスになるまでは苦手やなみたいな感じで線を引いていたんですけど、同じクラスになって、体調が悪かったときとかに「いけるん？」と心配してくれて、めっちゃこの子ええ子やんみたいな感じになって。ウワサとかってけっこう話しよるうちにいっぱい出てしまうんですけども、その時に、これはウワサじゃという前提で聞いて信じんよう

にするとか、良いウワサだったら信じて、悪いウワサだったら、ほんまなんかと聞いただけ聞いといたるわみたいな気持ちで聞くのが一番良いかな。友達とかとは仲良くなってみなわからんし、仲良くなってから本性現す子もおるけん、人とはつきあってからその子のことを判断するというか、ちゃんとよく知り合ってからその友達のことを考えるようにしていきたいと思いました。

**土庄中学校 2年 a q** 私たちの中学校では、「こころの集い」があります。その「こころの集い」では人権学習について、いろんなことを話し合っています。私は、1年生の時に私のクラスにいじめがあって不登校になった人がいます。そして、その「こころの集い」でいじめについて話し合っ、皆で解決しました。いじめは起きないのが一番良いけど、もし起きたときは、また、みんなで話し合っ解決したいです。



**土庄中学校 2年 a r** 私と同じ部活の男子なんですけど、よくいじられています。行動が女子みたいとか、あと、いろんなことでいじられていて、なかなか注意することもできなくて。他にも、部活でお世話になっているコーチがその男子に「俺がいじらんかったらお前は成りたたん。」みたいなことを言うて、むっちゃ腹が立ちました。そういうことは人間としてどうかとも思うし、年上でも年下でも関係ないことなので、言いにくいとは思いますが、ちゃんと言えるようになりたいです。

**藍住中学校 1年 a s** 僕も小学1年生の時に小学5年生くらいの大きい人にいじめられた経験があります。そして、先輩は怖いというイメージがついてしまって、先輩に対して、あまり自分から話せれないようになりました。でも、中学1年生の時に、中3の先輩から「怖がらんでいい。」と言われたので、今では頑張ってやっています。

**屋島中学校 3年 a h** 僕は、先ほどの佐竹さんの意見を聞いて、自分も近いものがあるなと思いました。僕はもともと気が短いので周りの友達とかに少し気に障るような事を言われると、声を荒げたり、少しきついことを言ってしまったりすることがあるので、僕のことを悪いように思っている人もいないかなと思いました。なので、これから一言一言、自分の発言に気をつけて、周りから悪いように思われないようにしたいなと思いました。

**板野中学校 3年 h** 国府中3年の上野さんの作文で、「いじることいじられること」なんですけど、私もすっごいいじられるんやけど、実はそこまで嫌じゃないっていうか、嫌と思ったことがないんですよね。嫌だったらこの人らと一緒にいらん気がする。いつもいじってくるんですよ。多分みなさんここにおいたら聞こえると思うんですが、「大根」ってこの周りの方、聞こえませんでした？「大根」って言ってきたこと。昨日の夕食会でタクアンが出てきたときに、「hちゃん、なんで黄色くなってんの？」というふうに言われるんですよ。ほなけど、私が嫌だったら、こうやって言うてないし、多分ここにおる人も、多分いじられているんですよ。みんなおしとやかで、みんな良い子なんで悪いいじり方をしないんですよ。でも、学校になるときついいじり方をしている人もいない

ですか。だから、いじり方によるのかな。暴言？がどうのこうのという話が出てきたんですが、私ってすごく口が悪いじゃないですか。暴言と口の悪い違いは何なんでしょうかという答えがほしいのと、あと、男の子が言った、怒りっぽいから周りにどう思われとるかということはその人の個性やし、周りにどう思われるからどうにかしようじゃなくて、それは個性だからおさえる必要って無いんじゃないかなと私は思っています。



**上板中学校 3年 a l** 私は藍住中学の佐竹さんの作文を読んで、なんか人を見かけで判断する？この人暗そうとかこの人なんかうるさそうと思うのは自分にもあるので、すごい共感できる作文だなと思いました。

**屋島中学校 3年 k** 上野さんの話を聞いて、自分もよく友達といじりあって笑っている時がけっこうあるんですけども、話聞いて自分のやることがすごく怖くなりました。実は、友達は無理して笑ってるんじゃないとか、とても嫌がっているんじゃないかととても不安になったので、これからはちゃんと友達とか相手の気持ちをよく考えて発言して、人間関係や友達を大切にしていきたいと思えます。

**名和中学校 2年 m** 私は、小学校2年生のときいじめられていて、いじめられているときに、いじめということがそんなにわからなくて、なんかアイドル気分を味わっていたんですよ。みんなが無視してきたら、私とし



やべるのがはずかしいのかなとか、もし陰口してたら、そんなに私のことが気になるのってポジティブに考えて。そしたら、いじめってネガティブに考えるよりもポジティブに考える方がすごい楽しいなと思いました。

**土庄中学校 2年 a t** 私はつい最近まで、部活内でみんなにいじめられていました。でも、その時に部長に言われて、いじられたこととか、自分がされてきたことをみんなに言いました。そして、すっきりしたので、いじられたりしたら自分の中にため込むんじゃないって、みんなに言った方がいいと思います。



**藍住中学校 3年 u** 「いじることいじられること」を聞いて、中1とか中2のときに友達内で、何か知らんけど、会話中にSかMか的なことを話すことがあって。それで周りの子や友達に他の子はいじる人が多かったけん、「じゃ、その子Sやな」みたいな緩い感じで決めていたんやけども、私はあんまり人をいじらんタイプやけん、他人に言うのが好きじゃないんで。多分遊びってわかっっても、言われるんはあんまり良い気持ちせんと思うから、私も他人に言わんようにしてるんですけども。でも、他人に言わんのが原因で、なんか理不尽にMとか言われて、「はあー？」と思ったんですよ。で、その会話で終わるんだったらよかったんですけども、その後2週間とかずーっとその会話があって、遊びってわかっってもうざかったです。うざかったんです。ま、私もいじるときあるんですよ。なっ a x !でも私のことを好きやろ?こうや

って特定の人とは話せるんですよ。でも、あんまり親しくない、壁をある程度作つとるなという人は友達にもおるから、あんまりいじったり、悪口言ったりはせんのかやけど、それが原因でMとかSとかそう決めるんはどうなんかなと思ってました。

**鳴門高校 1年 a u** 高校生が出しゃばってきていいのかって手を挙げるのをためらって、それでずっともやもやしたまま一日このまま終わって良いのかなって思って、一応マイクがやっとなんかまわってきたので発表させてもらうんですけども。午後の部Iでrちゃんがさっき言ったことで、部活の後輩が練習試合かなんか行くとき、その場所が「くさい」って言ったとかいう話を聞いてて、その話の中でその後輩はあそこが部落って知らなかったから、だから「くさい」って言っていた?でそれを私は止めれなかったみたい。な。ちょっと話が違ふかもしれないけど、解釈の問題なのかもしれないんですけども、あの話をあのまま聞いてると、私はそこが部落だから「くさい」って言っちゃいけないというふうに言うたようにちょっと解釈して。もし、そこが部落じゃなかったら「くさい」って言っても良いけど、部落だから言っちゃいけないというふうにな解釈になるんかなと思って。それで発表するときって、やっぱり頭の中でごちゃごちゃになったりとかもするので、もしかしたら伝えたいことがちゃんと伝わってなかったのか、それともそういう意図で言うたのかというのは、よくわらんんですけども、やっぱりそこがずっと発表を聞いた時からもやもやしてたんでちょっと言わせてもらいました。

**徳島北高校 1年 i** 中学生が主役の大会やけん言わんこうと思ったんやけど、さっきの話に付けたしたいんで言わしてください。うちも a uちゃんと同じく、その場所が

「くさい」って話を聞いて違和感を感じた一人です。そこが部落だからといって変に意識するんはなんかちょっとどうなんだろうとうちは思うんですよ。部落に限らずそれは他の問題？例えば障がい者問題とかいっぱいあるんですけども、言い方は悪くなるかもしれないんですけども、社会的弱者っていうのかな。そういう人たちに対して助けたいな、力になりたいなと思う気持ちは必要だと思うんですけど。だからといって、線引きにちょっとなってる気がするんです。部落だから言うたらあかんとか、そういうのは線引きがされとるじゃないですか。何とかだから助けてあげよう、何とかだからこれは言うてはいけないっていうのじゃなくて、無理に意識したり、変に意識したりせんでもいいと思います。

**城ノ内中学校 3年 ag** 大切な友達っていう作文を聞いたときに隣にいるx君のことをちょっと思い出したので言います。1年生のときから3年間クラスが一緒なんですけども、1年生の最初の頃は、なんかすごい見た目も真面目そうで固そうだし、ちょっと苦手なタイプかなと思ってて、討論会みたいなときに私が言ったことにメッチャつつこんできて「こいつ何?!」ってなったけど、そこで嫌いやって一瞬思ったけど、でも、なんか多分x君も私のこと嫌いやって思ってると思うけど。嫌いやって思ってそこで終わらんかって。x君は、はっきり言う人やけど、私は考えが子どもっぽいところがあるけど、彼は大人っぽいところがあって、「あっちょうどいいな」というんがあって、人権のときとかも意見をメッチャ言い合って良い刺激をもらってるなって思います。これなんか、x君の良いところを言っちゃっているようになってるけど、x君はいい人です？違うな、x君、さっき謝ってたんですけども、x君が謝るのも珍しいよな？私には謝ってくれんよな？私には謝ってくれません。私のおかげで謝れるよ

うになって良かったね。



**城ノ内中学校 3年 x** どうも、紹介にあずかりましたxです。さっきの話はあとでゆっくり精査して、じっくり言い合うとして、いじる・いじられるの話に戻るんですけども、僕もよういじられるんですよ。いじられる？いじられた経験がいっぱいあるんですよ。でも、僕はどっちかというとなタにして笑い話にもっていくのが好きなんでそれで済ましてるんですけども。果たしてそれが他の人にも言えることなんかと考えたら、言われたら深刻に考えてしまう人もいるじゃないですか。それを考えずに自分は笑い飛ばせるから周りも笑い飛ばせるだろうって考えて、自分をいじってしまうことが昔あったんですけども、今は、控えている部分もあるんよね。3年間も一緒だったらね。まーそういうこともあるんですけども、自分の苦しいって考えるモノサシを他の人にも当てない。しっかり自分を客観的に見る、相手も自分の常識を相手の常識に照らし合わせてはいけないと僕は思います。

もう一個言いたいことがあって、さっき口の悪さと悪口の違いみたいな、悪口って暴言か？暴言との違いを教えてくださいというのがあって。僕は暴言というより失言が多いんですけども、さっきみたいに、どこか言い方はきついけど良くしていこうって、ちょっときつめに言うてしまうのが口の悪さかな。で、暴言は自分の思い、感情を何も考えずにぶつけているだけっていうのはあると思います。

**中山中学校 1年 av** 話の流れを変えてしまうようでちょっと悪いんですけど、私は小学校のときにいじめられてて、いじめてる側はあまりいじているという自覚もないし、ふざけているという思いが強いと私は思うんですけども、いじめられている側はずっとそれがトラウマになって、心の中にずっと残るので、私も無意識に人を傷つけたりとかしないように言葉に気をつけたりしていきたいです。

**中山中学校 1年 aw** 僕は小学校のときにいじめていたことがあって、先生に怒られてからいじめない方が良かったと気づいたけど、中学校になってからはそれは通用しないので、最初から気づいていじめを止めたり、自分で最初からいじめをしないような人間になりたいと思います。

**城東高校 1年 ax** 瀬戸さんが言ってくれた作文の中で、1年生の時に友達をいじめよった人に注意できなんだって言よったけど、同じ立場だったら私も「やめよう」とか気が弱いから絶対言えんけど、注意できんなりに寄り添ったりして、その時にできることをしよったけん良かったんじゃないかなと思いました。人によるかもしれないんですけども、私のおばあちゃんが小学校のときにいじめられよったり、無視されよったりしよったことがあって、ばあちゃんが「axがいじめを止めたら立派なことじゃけど、それができなかったら、その子に寄り添っていただけでも私はうれしいけん、そういうことができるようになってな。」と、私はばあちゃんに言われたので、寄り添うことも大事なことやったんやないかなと思いました。

あともう一個いいですか？暴言と悪口？口が悪いの違いで城ノ内のxさんが言よったんと同じようなことなんですけども、「何とかでございます」みたいに口が良くっても、言

よることがムチャクチャだったりとか、自分のわがままを押し通そうとしたりしたらそれは暴言やと思うし、言よることがきちんとしてる人で相手のこともきちんと考えとったら、それは口が悪いになるんじゃないかなと思いました。



**屋島中学校 3年 y** 国府中学校の上野君の意見発表を聞いて、すごく身近なものだなとは感じました。皆が言ってくれたことと重なる部分もあるんですけども、この意見発表を聞いて、身近でいじることもしじられることも多くあって、いじられたら嫌な気持ちになって、でも笑いに変えて楽しんでいる自分があって、いじるときは普通に楽しんでて矛盾感を感じました。いじるところが相手のコンプレックスで、自分のコンプレックスをいじられるのと一緒に、いじったときに笑顔がなくなったときとかはすごく反省する部分があるので、矛盾感をすごく感じました。

**藍住中学校 3年 ax** 私もしじる・いじられるの話なんですけども、私はいじられるキャラの方で、でも決していじられるのが嫌じゃないんですよ。決してMではないんですよ。でも、限度があるじゃないですか、いじるのって。限度を超えてしつこくしつこくやってくる奴って、やっぱりウザイじゃないですか。そういう奴ってたまに何かいっつもよくいじられるけん、言いやすいじゃないですか。

部活であったことなんですけども、私、吹(奏楽)部だったんですけども、吹いてて間

違ったところとか指摘してくれるんですよ。それ自体ははっきり言ってとっってもうれしいことなんですけども、それを同じパートの子が同じように吹くんですよ。全く同じだったんですよ。ほんで2人で「あはは、まちがったな。」で笑ってたのに、私にだけ言われたことがあったんですよ。それが一週間二週間くらい続いたことがあって、いい加減ウザくなってきて、結局けんかしてやめたんですけども、そういうことがあるので、やっぱり限度を大切にしていってほしいんじゃないかなと思います。

**屋島中学校 3年 a z** 自分は、小学6年生の頃、みんなと一緒にいじめをしていたことがあります。しかし、途中でいじめはダメだと気づき、関わらないようにしていました。今思えば、それも無視といういじめだと思います。今、学校生活で嫌だなど思うことがあります。その時にいじめられている人を理解できるようになりたいと思いました。



**板野中学校 3年 v** 上野さんの作文でいじることが書かれていますけど、いじりからいじめにいつてしまう境界線って分からないじゃないですか。その境目は、いじっている人たちはその場を空気を和ませようとしてやっていますが、やっぱりきついときだってあるじゃないですか。だから、いじられて嫌だなど思うときは言った方が自分もすっきりするしその人も分かると思うので、言ってね！h！

**土庄中学校 1年 b a** 僕は2、3年前に人

の意見に流されやすいときがあって、あーこの人はダメだなとか、この人はやっぱりいいんだとか、そういう意味で流されやすく、自分は何も知らないのに人の意見だけで決めてしまうことがありました。小学校の6年生のときに人権フェスタという会があって、その時に森口さんが来て話をしてくれたときに、いろいろな差別のことを話してくれて、自分でも少し心の中とかで反省することがいろいろ出てきてとてもためになって、この佐竹さんの話でもとても共感することがあって、とても勉強になったと思います。

**阿波西高校 2年 a i** ほんまに1つだけ、いじめのことについて言わせてほしいんですけども。私は中学校1、2年のとき、すごくいじめられて、ひどいこともされたし、警察沙汰になったこともあるんですよ。すごくつらくて、一番支えてくれたのは先生方なんです。自分は担任の先生だったんですけど。私は、自分の親からも虐待されていたんですよ。高校になっても続いていて、つい最近まで。高校の中では誰にも頼ったらあかん、高校生になったんやけん誰も人に頼ったらあかん、警察の人が来てたんですが、警察の人にも何遍も言われました。人を頼ったらあかん的な感じで。それも自分では分かっていたし、高校もやめようと思って、頼らずにずっと1人で抱え込んでいたら、私が大事にしていた場所、真友会があることを私は忘れていたんですよ。なんで頼らずに過ごしていたんだろうと。頼れなかったのは私が悪いんですけど、頼れる人をつくって、相談できる人をつくって、頼っていいんで頼ってほしいです。頼ってください、誰でも。

**上板中学校 3年 b b** この雰囲気と言うのも何ですけど、佐竹さんの作文でウワサが良いイメージとか悪いイメージとかいろいろあると思うんですけども、そのイメージとかウ

ワサが本当にそれが本当なのか嘘なのかを自分の目ではっきり確信をもって自分でちゃんと判断できる力をつけていかなければならないんじゃないかなと思いました。



**城北高校 2年 bc** ここにいる中学生とか先生に言いたいことなんですけども、いじめ問題を解決したいって簡単に言えるんですけど、いじめ問題を解決するためには、まず、そのいじめを受けている人間がやはり声を出して信頼している人とかに、いじめを受けているって、ちゃんと声で伝えないと解決しないと思うんです。僕自身もそうなんですけども、いじめを受けたときに自分がからかわれているって先生に言ったら、何でもそういうのはうやむやにされて、結局、問題にはならないんですよ。ちゃんと自分の言葉でいじめを受けているって先生とかに言うたら、先生とかもいろいろ考えてくれるし、問題としてみんなに何か伝えるきっかけをくれたりするので、中学生だったら、高校生でもそうなんですけども、先生とか誰でも頼れる人に言って、そこから発信してもらうことで、そこからみんなに伝えていくことがいじめをなくすきっかけになっていくと思うんで、やっぱり自分の気持ちをちゃんと誰かに伝えることはして行ってほしいと僕は思いました。

**上板中学校 3年 bd** 小学校のときに体のことでからかわれたりして嫌な思いになったことがあるんですけども、体って自分自身で変えることってできないじゃないですか。ほなけん、嫌な思いをしてから、自分は絶対ほ

ういうん他人にせんとこうというのはすごく思いました。

**国府中学校 3年 be** さっき、感想をいっぱい言ってくれてありがとうございます。僕は、小6からすでにいじられていて、さらに、中1になってからもっとひどくなりました。僕、さっき作文で言った通りほんまに質問に答えて、オカマやそして芸能人のIKKOさんやクリスさんの名が僕につけられて、毎日「オイ、クリス。」とか「オイ、IKKO。」とかよく呼ばれていて。黒板にも栗の絵を描いて、その真ん中に漢字を入れて暗号文のような感じに書かれていたり、すごいやられていて。でも、中2になってからはクラスも変わったし、いけるかなと思ったけど、やっぱりいっぱい言われ続けて。そこで、人権作文にもう言われたくない、やめてほしいと書いたところ、言われることがすごく激減して、僕のクラスも言うてくる人はもういなくなつて、でも、学年全体ではなくて。しかし、すごく減ったので思いが伝わると僕は思いました。

**藍住中学校 1年 as** 「いじられることと  
いじること」の作文の感想で、城ノ内のxさんと同じで、僕もいじられたこともあるけど笑ってごまかすタイプなので、自分でもMじゃないけど、いじられても気にしないタイプでした。けどやっぱりいじられてばかりでいじめにつながっては嫌なので、限度を過ぎるとそれはやめてほしいとしっかり言えるようになりたいです。

**藍住中学校 3年 bf** さっきまでの話を聞いて、6人も私の作文に意見を返してくれて、すごくうれしかったです。私の作文の題名は「大切な友達」という題名だけど、私が言いたいことは、友達だけじゃなくて、部落差別とか人種差別を受けている人たちも悪いウワ

サで差別を受けていると感じて、身近な友達のことを題名にしたら、差別問題を考えるときも、差別をしている人は、悪いウワサでその人のことを差別しているんじゃないかとか考えるかなと思って、「大切な友達」という題名にしました。みんな友達のことが大好きだと思うんですよ。なのでこれから出会っていろいろな人も、その友達のように関わっていったら、すごく差別とかも差別意識も薄れていくと思うんですよ。なので見た目とかウワサなどで差別をしていかないようにしていきたいです。

**板野中学校 2年 an be**さんの言ったやつを聞いて、また思ったんが、私も男と女どっちに生まれたいかと聞かれたら、すぐに多分男って答えると思うんですよ。今、自分が女やから違う異性の考え方とかも知りたいなと思うからで、人の考え方は自由やのに、それを取り上げていじるとかはおかしいなと思いました。

**板野中学校 3年 aa** 「いじることといじられること」って、うちもいじられる方なんかな？ようわからんな。半々やな、半々？半々なんやけど、いじられるんもうちは嫌じゃないと言えば、なんというか、言われてもいい子っておったら変なんやけど、その子たちだったら言われてもほんま1ミリ程度も気付かんよ。「ふれあい」の子に言われても、自意識過剰かもしれんけど、真友会の子とかは言われても自分をほんまに大事に思ってくれとって、絶対に自分が嫌じゃって言うたらやめてくれると思うし、絶対、自分が泣くまでは言わんと思うし、絶対いじめるまで発展せんなという気持ちがあるけん、hちゃんもそうなんかな、ほんまみんなのことが好きすぎていじられても全然何も思わんみたいな感じになってる。hちゃんの暴言と悪口の違い、hちゃんの場合、口は悪いけど、死ぬとかバ

カとか消えろとか言わんし、自分やったらhちゃんの行動に対して、嫌いとかウザイとかは言うけど、絶対にリナちゃんは、うちを嫌いとは言わんけん、悪口と暴言には感じんやと思う。あと、怒りっぽい子の話は、ほんまに大事な人を傷つけたら謝ったらいと思う。怒りっぽくてもわざわざ自分を押し殺してまで嫌われんようにしようとせんでも、うちだけの考えかもしれんけど、大切な人にだけ嫌われなんだらうちはいいかなと最近思い始めとるけん、自分が大切にしたいと思っている人に対して言ってしまったんだったら、謝ったらいいいんじゃないかなと思いました。

**上板中学校 3年 am** さっきも「私はいじられるキャラだ。」という感じで言っていたんですけども、私も同じで部活ですごくいじられるキャラなんですよ。でも、そのことに慣れて別になんとも思わないんですけども、他の子が見た目でいじられていたんですよ。そしたらその子は、そんないい顔してなかったんで、自分みたいにいじられて、ほんまなんとも思わん人ばかりではないんで、そこいらを頭に置いて行動していきたいなと思います。



**板野中学校 3年 h** 隣のこの子が言うたことで、自分にあつたことを思い出して。私も美術部におつたんですけども、美術部の子にはやめた理由を体調不良と言ってはあるんですけど。私が美術部でおるときに最初はみんな仲良かったんですけど、ちょっといじりがきつすぎたんですよ。もう、もう…ほんま、

精神的にきましたよ。死ぬと思った。なんだろうね。もういじめみたいになって。学校行くのもずっと嫌だったし、もうずっとずっとしんどくて。でも私、こんな性格やけんちゃんと言えんかって、それで結局、体調不良は本当だったんだけど、そのストレスから私は腹痛にきて、それで私は部活をやめました。だから、同じ部活におる子で、いじり方がきついなと思ったら注意してあげてください。私みたいな子がもうでんように、それはお願いしたいです。あと a i 先輩に言いたいことがあるんですけども、なんでそんな大事なことを私らに相談しなかったんですか？ 私たち真友会って何なんですか？

**阿波西高校 2年 a i** それは、めっちゃゴメンなさい。



**板野中学校 3年 h** うちらって、そんなに頼りない後輩ですか？

**阿波西高校 2年 a i** あの、めっちゃさあ、言いたかったんやけど、いろんな人に自分も言うていいんかわからへんし、どう言うていいんかわからへんで一。それにやっと気付いたんは、風美南ちゃんのおかげなんやけど、風美南ちゃんありがとう。なので誰でもいいので頼って。ほんま誰でもいいけん。私、めっちゃ後悔しとうけん。

**板野中学校 3年 h** 後輩で一番仲いいと信じとったのに、ほんま今ので私、激怒ですわ。もうほんま a i 先輩知りませんよ、というん

か、先輩に一言文句いいたあて、もう言わんと決めたことを破りました。

**阿波西高校 2年 a i** 私のせいみたいです。すいませんでした。

**藍住中学校 3年 b g** 私は佐竹さんの作文を聞いて、共感できるところがいっぱいありました。私も見た目で人を判断することがよくあるし、人間っていうんはそういうんをよくする生き物だと思います。藍中では「ひとごとからわがごとへ」というのをモットーにして、人権学習を進めています。そういう一人ひとりの意見を一人ひとりが自分のこととして、考えていけるように自分もしていきたいです。

**吉成** 時間きとるから、4時までかな？ 3つほど言いたいことがあったんですけども、1つだけにしようかなと思うんです。

午前中のシンポジウムの中で性同一性障がいという言葉が出てきました。一般的に多分そういう使われ方を日本ではしていると思いますが、障がいとかわれたら、そこはやっぱり違うでしょっていうのが世界の流れなんです。今。それに病気っていうふうな見方をしていることもありますけど、病気でもないという見方が、今世界的な流れではされています。だから、今、世界的にはね、性同一性障がいという言い方をしません。日本くらいです。そういう言い方をしているのは。

では、どういう言い方をしているのかというと、「性別違和」という言い方を世界的に使っています。性別っていうのは男性女性とか、男子女子とかの性別ね。違和っていうのは違和感があるっていう話。男性女性っていう性別に分けることに違和感がある、そういうことです。「性別違和」という言い方を世界的流れの中ではしていますので、今は。

今、皆さんが聞いたのは、日本最先端の用

話を聞いたというふうに思っと思っています。それでも、学校では性同一性障がいてという言葉が聞いたり使ったりするかもしれませんが。その時には、もし言える勇気があったら、「世界的流れとしては、ちょっと遅れてるんですよ。」「世界的流れでは、性別違和っていうんだそうですよ。」ってみなさんの口から言ってあげてくれるといいかなというふうに思います。

**鳴門高校 2年 a u** また、中高生集会に来てください！中高生集会の中部ブロックにです。

**吉成** 中高生集会の中部ブロックには、鳴門市とか、板野郡とか、徳島市とかの学校が入ってます。中高生集会での中部ブロックのテーマが今年の場合…、なんやったっけ？

**鳴門高校 2年 a u** セクシャルマイノリティーです。

**吉成** セクシャルマイノリティー、性的少数者っていう、日本語に訳したらそういうことですけども、これについてのテーマになっています。中学生の皆さん、ぜひ行ってくださいとのこと。他にも言いたいことあったんです。例えば、悪口についても言いたかったんですけども、もうやめときます。x君にも言いたいことがあったんです。けどやめときます。屋島中学校の6人にも言いたいことがあったんです。けどやめときます。良い意味ですよ。良い意味で送りたいメッセージがあったんですけども、時間が時間なのでまたの機会というふうにしておきます。

**板野中学校 3年 r** さっきからずっと言いたかったんですけども、i先輩とa u先輩に言われたことをずっと考えよったんですけども、自分もやっぱり一線を引いていたことが

あったかもしれないと思って…。でも、私は後輩がその中学校をくさい所って言うたんがすごい許せんかって。でも、たぶん、勝手な想像になってしまうかもしれんのやけど、その中学校の子からしたらくさいけんやめようとか、その学校の子がうちの子をくさいとか言よんを見たら、やっぱり傷つくと思ってしまったし。でも、自分もやっぱりちょっとは差別してしまったところがあったと思って。先輩がそういうことに気付かせてくれたけん、すごい先輩やなと思いました。もやもやさせてしまっでごめんなさい。



**司会者** まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午後の部を終了したいと思います。みなさん、ご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに人権問題をさらに深く考え、各学校に持ち帰ってください。

それでは、全体会午後の部を閉じることにします。ありがとうございましたー！

それではこのあと引き続いて、閉会行事にうつらせていただきたいと思いますので、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。

